

令和7年度 ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト

読書活動支援者育成事業 第2回いわき地区研修会

福島県教育庁 いわき教育事務所

総務社会教育課

研修会ご参加いただき、ありがとうございました。

10月25日（土）に、道の駅・いわき・ら・ら・ミュウの研修室で、読書活動支援者育成事業第2回いわき地区研修会を行いました。あいにくの雨でしたが、事前申し込みの方以外にも、当日、興味をもって来場された方とともに、読書活動について学びを深めることができました。第2回の今回は、読書、読み聞かせそのもののよさを改めて感じていただくとともに、本などを通して、未来の世代に「語り継ぐ」「伝える」ことについて考え、可能な範囲で、読書活動支援者としてそれぞれのお立場で読書活動を広げていただきたいと思い、研修会を開催しました。



当日は、講師として、絵本専門士の石川仁美様、いわき市立中央台南中学校の「中学生語り部」の生徒の皆さんを招き、リラックスした雰囲気の中での研修会になりました。石川様からは、読書の魅力や効果的な読み聞かせについて、「大人のためのお話会」を通してお話しいただきました。「中学生語り部」の皆さんからは、震災を知らない世代としていかに語り継いでいくかを、実際の活動の様子をもとにお話しいただきました。中学生が震災を語り継ぐその思いに、来場された皆さんは感銘を受けられた様子でした。

本や語りを通して、未来の世代に「語り継ぐ」「伝える」

参加者の感想から

○絵本専門士という仕事を今回初めて知り、子どもに絵本を読み聞かせる時の工夫をたくさん教えていただきとてもためになる講演だった。自分がもし読み聞かせをする機会があったら、石川先生に教えてもらったアドバイスを活かしてやってみたいと思った。

○中学生としての思い、高校生になっても活動を続けているその熱心な姿に心をうたれた。活動の場をこれからも広げ、バトンをつなぎ続けていってほしい。とても感動した。

読書活動支援者育成事業とは…

学校や図書館など地域で活躍できる読書ボランティアの新規の人材育成や資質向上、経験者においては、さらに専門的な知識・技能の向上を図ることを目的とする事業。これらを通して、学校・家庭・地域が連携して子どもの読書活動を推進し、子どもたちの豊かな心や生きる力の育成を目指します。

